

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスぞうさん今宿教室			
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 26日 ～ 令和 8年 2月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 26日 ～ 令和 8年 2月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの個性や発達段階を理解し、スモールステップで取り組んでいる。	子ども一人ひとりの個性やニーズ、発達段階を把握し、個別支援計画書を作成し、それに基づき支援を提供している。	保護者からの聞き取りや子ども自身の声に耳を傾け、多角的な視点からアセスメントを行い、定期的な見直しを行うことで子どもの成長や変化に合わせた計画修正を行っている。
2	子どもの「やってみたい」気持ちを大切にしている。画一的なプログラムではなく、子どもの興味や関心、個性に合わせた活動内容を取り入れている。	運動、創作活動、クッキング、集団遊び、外食体験など様々な活動を提供している。子どもたちのニーズや興味、関心、発達段階に応じた活動内容に取り組んでいる。	活動の難易度や内容を、子どもたちの発達段階に合わせて柔軟に調整できるよう複数の選択肢を準備する。各活動が子どもたちのどのような成長を促すか、具体的な目的、目標を設定する。。
3	保護者交流が充実している。	年2回開催している保護者会には毎回多くの方が参加してくださる。また、保護者間でのお悩みを相談し合える場を設けている。	毎回参加される方とそうではない方がいるので、より多くの保護者に興味をもって貰える内容を検討したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族との連携	・子どもが家庭での支援を嫌がる。 ・家庭と事業所での環境の違いがある。 ・生活のリズムの乱れ、タブレットやゲーム依存。 ・特性の理解が困難。	・事業所からの情報提供やアドバイスを工夫する。 ・保護者とコミュニケーションをとる。 ・ご家庭での支援に対する目標設定を提案する。 ・スモールステップで取り組めることを提案する。 ・家庭での支援を楽しい時間にするための工夫やアドバイスをする。
2	情報過多と伝達の難しさ	・支援内容が多岐にわたる為、全てを伝えきれていない。 ・興味関心が薄い。 ・情報発信に十分な時間を確保できない。	・将来に向けて必要な課題を分析し、支援を提供する。 ・保護者のニーズや関心に合わせた情報の提供をする。 ・支援の目的や効果を具体的に示す。 ・意見交換会やアンケートを実施し、保護者の声に耳を傾ける。
3	地域交流	・地域の方を招き交流したいが、室内の広さの問題もあり難しい。 ・情報の発信や地域との連携が困難。	・夏祭り等の活動で保護者やきょうだい児を招き交流の場を設けている。 ・公園遊び等で地域の子どもたちとの交流の場を設ける。 ・学校のバザー等、保護者や子ども達から情報を得る。